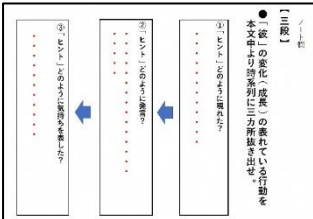
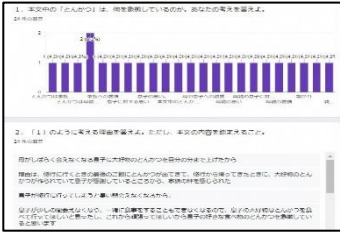


(別紙様式)

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立和気閑谷高等学校		
実践者等	福田 浩司	実践日	令和3年10月1日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	国語総合(現代文)		
対象生徒(学年等)	普通科1年		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	「とんかつ」は、何を象徴しているのか? (『とんかつ』三浦哲郎より)		
使用したアプリ等	パワーポイント、Classroom		
実践の概要(ねらい等)	内容を踏まえ、作品に込められた筆者の思いを推察(根拠に基づいた)していく。その際、他者の意見も参考にしながら、自らの考え、表現を深めていく。		
実践の内容			
<p>(1) 語彙力、文法力の補充、確認(「論理エンジン」《水王舎》により)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 毎時5分程度、問題集の前から順番に取り組んでいく。</li></ul> <p>(2) 前時の内容、振り返り、「本時の目標」、「手順」等を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 前時に生徒が端末を使って記述した内容をスクリーンに投影し、学習内容を確認。</li><li>・ 黒板に明示した「本時の目標」「手順」を示しながら、本時は、登場人物の心情を情景描写等を踏まえながら考察したのち、作品全体における「とんかつ」の役割を、本文の内容も踏まえ、推察していくこと説明していく。</li></ul> <p>(3) パワーポイント、Classroom(ドキュメント)を活用しながら、本文の内容把握。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 教科書の本文(第三段落目)を生徒が順番に音読し、パワーポイントに示された型に従って、授業プリントのノット欄等に、生徒それぞれが内容を考えながらまとめていく。その後、関連問題の解答を、Classroom(ドキュメント《共同編集可》)に入力し、意見の共有を図る。</li></ul>  <p>(4) Classroom(フォーム)を活用し、「とんかつ」の役割を確認。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 生徒それぞれに配信されている課題(Classroom《フォーム》)に、生徒それぞれが(1)『「とんかつ」は、何を象徴しているのか』(2)「そう考える理由」に回答し、教員に送信する。教員は、送られてきた意見を集約し、それをスクリーンに投影し、意見の共有を図る。</li></ul>  <p>(5) OPPシートにより、本時の振り返り。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 生徒それぞれが、本時で理解できたこと、分からなかったこと、次回への展望など振り返りを行う。</li></ul>			
参考となるHP等			

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)